

初めての『ふるさと納税』体験レポート②

申込をしてから、ちょうど1週間。

自治体の方から案内と払込依頼書が届きました。

今まで、払込用紙を心待ちにすることってなかったかも。

今回2か所に申込をしましたが、自治体の紹介と寄付の使い片の記載のある案内を読むと、それだけで寄付したことでの自治体への愛着が湧く気が(1万円の寄付ですが…)。

案内は基本、納入の仕方(払込用紙の記載方法)が記載されていました。

因みに、今回2か所の自治体に寄付した理由は…

私は今年2万円の『ふるさと納税』をする予定でした。

両親の出身地の自治体に申込手続きを行っている、1万円でも2万円でも、届く特産品が同じだったのです。

(申込の仕方が悪かったせいかもしれません?)

それならば、と1万円ずつ2自治体への申込を行いました。

自治体によっては、2万円寄付すると、1万円コース×2個の特産品が選べる場所もありました。

申込をしつつ、そのあたりもチェックしたいところです。

何か所に分けて寄付をしても、下限度額の2千円は変わりません。

早速、寄付額と住所氏名を記入して郵便局で払込を。

あっという間に完了です。

納入の方法は色々選べました。

- ①現金持込
 - ②現金書留
 - ③専用口座への振込(振込手数料は自己負担)
 - ④ゆうちょ銀行への払込(振込手数料は先方負担)
 - ⑤クレジットカード決済
 - ⑥ペイジー
 - ⑦コンビニ納付
- …等

残念ながら、⑤～⑦の導入は市町村ではこれから、という印象です。

クレジットカード決済ができる自治体ですと、カードのポイントも付いてきてお得感がさらに増すようです。

今回申込をした自治体は、入金後3～4週間で特産品が届くとの案内がありました。

また一步、和牛に近づきます。

次回は、特産品のレポートを。

レポートの山場(?)です。

